

### 3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

#### (1) 国 語

##### ア 個々の問題の概要及びその通過率

一評価の観点一				
話・聞	:	話す・聞く能力		
書 く	:	書く能力		
読 む	:	読む能力		
言 語	:	言語についての知識・理解・技能		

(◇:「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	A設定通過率(%)	B通過率(%)	AとBの比較	
A話すこと・聞くこと (1)3・4学年エ	一	話の要点を聞くことができる。		話・聞	70	89	↑	
A話すこと・聞くこと (1)3・4学年エオ	1	話の内容を聞き取り、司会の役割を指摘することができる。	◇	話・聞	65	93	↑	
			◇	話・聞	65	87	↑	
A話すこと・聞くこと (1)3・4学年イエ	三	話の中心に気を付けて聞き、理由を挙げながら筋道を立てて話すことができる。	◇	話・聞	65	86	↑	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)3・4学年イ(ウ)、ウ(イ)	一	① 漢字を文脈の中で正しく書くことができる。		言 語	60	73	↑	
				言 語	70	84	↑	
				言 語	70	76	↑	
		④ 漢字を文脈の中で正しく読むことができる。		言 語	60	65	—	
				言 語	70	98	↑	
2	(3)	文脈に合う接続語を指摘することができる。		言 語	80	96	↑	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)3・4学年ウ(ア)	二	(1)		言 語	55	82	↑	
		(2)		言 語	70	84	↑	
		(3)		言 語	45	63	↑	
B書くこと (1)3・4学年アウ	3	相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を収集したり、選択したりするとともに、書くこととすることの中心を明確にして書くことができる。	◇	書 く	60	58	—	
C読むこと (1)3・4学年イ	一	目的に応じて、中心となる語や文を捉えて文章を読むことができる。		読 む	60	60	—	
C読むこと (1)3・4学年エ	4	目的や必要に応じて、文章などを引用したり要約したりすることができる。	◇	読 む	60	73	↑	
C読むこと (1)3・4学年エ			三	目的や必要に応じて、要点や細かい点に注意しながら読み、中心となる文を捉えて抜き出すことができる。	◇	読 む	50	47
C読むこと (1)3・4学年ウ	一	① 会話のやりとりで気を付けながら、登場人物の気持ちについて捉えて、叙述を基に適切な流れを指摘することができる。		読 む	60	83	↑	
				読 む	60	77	↑	
				読 む	60	67	↑	
C読むこと (1)3・4学年ウ	5	(1)	◇	読 む	60	45	↓	
C読むこと (1)3・4学年ウ		二	(2)	◇	読 む	55	32	↓
C読むこと (1)3・4学年ウエオ		(3)	◇	読 む	45	46	—	

A設定通過率とB通過率を比較する際は、下記により判断する。  
+5ポイントより上の場合:「↑」 ±5ポイントの範囲内:「—」 -5ポイントより下の場合:「↓」

評価の観点	話・聞	書 く	読 む	言 語
A設定通過率	66	60	57	64
B通過率	89	58	59	80

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
			青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	話の要点の聞き取り	70	90	90	89	88	90	86	87	
	二	話の内容の聞き取りと司会の役割	65	93	93	91	94	94	96	93	
			65	88	89	82	86	87	89	83	
三	話の中心の聞き取りと筋道立てた話し方	65	85	85	84	87	89	88	83		
2	一	①	「みなみがわ」の書き方	60	76	77	67	66	65	67	66
		②	「さんか」の書き方	70	88	88	87	70	72	69	69
		③	「はじ(めて)」の書き方	70	76	77	73	66	67	73	62
	(2)	④	「小包」の読み方	60	66	66	61	62	65	63	57
		⑤	「観光」の読み方	70	98	98	98	99	98	100	98
	(3)	接続語の指摘(だから)	80	96	96	97	96	95	98	95	
	二	(1)	ローマ字の読み方(zinzya)	55	82	82	80	81	80	85	79
		(2)	ローマ字の書き方(えき)	70	85	86	76	84	85	85	83
		(3)	ローマ字の書き方(としょかん)	45	65	66	48	62	67	60	59
	3	相手や目的に応じた表現(ユニバーサルデザインの紹介文)	60	55	56	32	56	54	51	62	
4	一	中心となる語や文の読み取り	60	63	63	55	58	60	57	57	
	二	目的に応じた引用や要約	60	74	75	64	72	76	74	67	
	三	要点の読み取りと中心となる文の書き抜き	50	50	50	41	47	50	49	41	
5	一	①	叙述を基にした人物の心情の想像	60	84	84	78	82	86	80	79
		②		60	78	78	70	77	82	78	73
		③		60	67	68	66	64	67	61	63
	二	(1)	叙述を基にした人物の状況の指摘	60	46	46	38	38	44	35	34
		(2)	人物の心情に適した叙述の書き抜き	55	31	32	30	30	36	26	27
		(3)	人物の心情やその理由についての考え	45	48	49	34	44	50	43	39
教 科 全 体			62	73	74	67	70	72	70	68	

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
89	88	91	91	88	90	90	90	90	90	91	88	87	87	88	89
93	93	95	93	94	94	93	95	94	92	92	91	93	94	93	93
85	86	79	87	82	87	90	88	85	85	87	77	88	88	88	87
87	87	86	90	85	88	87	87	88	87	88	81	86	86	86	86
71	71	69	72	68	79	78	79	80	69	69	71	72	72	68	73
82	81	84	83	79	87	83	89	90	78	77	84	89	89	88	84
81	83	85	69	77	75	73	79	76	72	74	64	76	77	70	76
66	66	63	65	66	67	71	67	65	59	58	60	64	66	54	65
98	98	97	96	98	98	99	98	98	96	97	91	97	97	97	98
96	94	99	97	98	97	97	98	97	95	95	95	96	96	95	96
83	83	83	82	83	85	84	85	85	76	79	67	81	81	78	82
83	83	86	82	80	87	88	88	85	79	81	74	81	81	81	84
64	63	67	65	62	66	63	70	67	56	60	40	59	59	58	63
60	64	52	56	49	60	61	59	59	50	50	49	59	59	59	58
59	59	62	59	60	63	67	62	61	58	61	49	59	59	56	60
75	75	77	75	70	74	76	72	74	67	68	64	72	72	73	73
47	47	46	47	46	46	47	39	49	44	47	33	44	44	44	47
82	81	81	85	84	84	86	81	84	81	84	71	83	84	78	83
76	77	77	76	73	78	82	75	78	77	79	71	76	77	70	77
67	67	64	68	63	69	71	66	69	70	73	60	65	66	61	67
44	44	43	44	48	47	51	50	44	41	42	37	48	49	42	45
31	31	29	36	26	33	36	31	32	27	28	24	33	35	25	32
46	46	47	50	38	49	56	39	48	43	45	37	46	48	35	46
72	73	72	73	70	74	75	73	74	69	71	64	72	73	69	72

※通過率(%)は、「総正答数/総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

※②-②⑤通過率100%については、つがる市は全員正答によるものです。

## ウ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
4 三	47	実は、他に、じゃがいもやわかめなどもよい。(16.0)、はじめに大根を入れ、すきとおったら油あげやねぎを入れる。(11.5)、火の通りにくいものから入れる。(7.5)、無答(7.5)、すき通ったら油あげやねぎを入れる。(2.0)、もう一度ふっとうしたらすぐ火を消す。(2.0)
5 二(1)	45	無答(13.0)、もう一度えんそうがしたい(6.5)、こわれた楽器(3.0)、働きつかれて(2.5)、くもの巣をかぶって(2.0)、しょんぼりとして(2.0)、げんをふるわせて(2.0)、休んでいる(1.5)、こわれているのに(1.5)
5 二(2)	32	無答(17.5)、はずんだ(4.5)、たのしい(3.0)、うれしい(2.5)、りっぱな(2.5)、よろこび(2.5)、えんそう(2.5)、千の楽器(2.0)、うっとり(2.0)

- 4三では、誤答の原因として、みそ汁を作る手順の内容を見直すという目的に合わない解答や、一文で書き抜くという問題の条件を満たしていない解答が多いことから、目的や問題の条件を確認しながら、複数の情報(非連続型テキスト、連続型テキスト)を比較して読み取ることが正確にできなかったことが考えられる。
- 5二(1)では、誤答の原因として、地の文ではなく、会話文から書き抜いた解答が多いことから、問題文をしっかりと読んで解答していなかったことや、「地の文」という言葉そのものを理解していなかったことが考えられる。
- 5二(2)では、誤答の原因として、無答が多いことから、語彙の不足により「しょんぼり」の意味を理解できず、反対の内容の言葉を見付けることができなかったことが考えられる。また、誤答が多岐にわたっていることから、書き抜くのではなく、当てはまりそうな言葉を自分で考えたり、問題文や【話し合いの様子】をしっかりと読まないまま解答したりしたことが考えられる。

## エ 今後の指導について

### ○課題の見られた問題 4三

#### ○出題のねらい

目的や必要に応じて、要点や細かい点に注意しながら読み、中心となる語や文を見付け、書き抜くことができるかを判断する問題である。

出題の意図は、平成29、30年度の分析において、目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることに課題が見られたため、複数の情報(非連続型テキスト、連続型テキスト)を比較し、自分の考えをまとめ、その内容に適した文を選ぶ問題とした。

#### ○分析結果と課題

分析の結果、内容を見直すという目的に合わない解答や、問題の条件に合わない解答が多かった。

課題として、目的や問題の条件を踏まえた複数の情報の比較や読み取りが不足していることが考えられる。

## ○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、目的や必要に応じて文章などを引用したり要約したりすることができるよう、児童自身が必要感をもてるような言語活動の工夫が大切である。その際には、文章の要点や細かい点に注意し、文と文の関係や段落相互の関係に注目して情報を見付けさせたり、複数の情報を比較させたり、目的に応じて要約させたりすることが大切である。また、複数の資料を使ったり、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」と関連させて指導したりすることも大切である。

### 指導例

目的や必要に応じて、引用したり要約したりする力を高める指導

～単元名「きょうみをもったところを中心に、しょうかいしよう」(第4学年)～

【指導の流れ】4学年における「ウナギのなぞを追って」(作：塚本勝巳)を例とした単元の流れ

1 「ウナギのなぞを追って」(又は、紹介したい本)を説明する「しょうかい文」の内容を考えると学習の見通しをもたせる。

**学習活動** 教材文を読み、筆者の体験や考え方に興味をもつ。



最も興味をもったところについて、考えをまとめて話し合みましょう。



ウナギの一生が分かっていないところに興味をもちました。



しだいなぞがとけていくところに興味をもちました。

### ポイント

興味や関心から生ずる自分の考えを基に、引用したり要約したりしながら「しょうかい文」の内容を考えると目的意識をもたせる。

2 段落相互の関係を捉えさせる。

**学習活動①** 教材文全体を「はじめ」「なか」「おわり」に分け、内容の大体を捉える。

**学習活動②** 段落ごとに小見出しを付ける。



筆者の考えを整理するために、段落に小見出しを付けましょう。

1段落目は、調査する場所のことについて書いているから、「ウナギを調査する場所」だと思います。



～(話合いが続く)～

**学習活動③** 各段落をカード化して関係図を作り、意味段落に分ける。

### ポイント

筆者の考えを理解させるために、小見出しの根拠として中心となる語や文に着目させながら段落を整理させる。また、筆者が考えをより強調するために段落構成を工夫していることに気付かせる。

3 「しょうかい文」を伝える相手を決め、最も興味をもったところを中心に、文章などを引用したり要約したりして内容をまとめさせる。

**学習活動①** 筆者の体験や考え方、伝えたいことについて、興味をもったところから必要（紹介する相手）に応じて引用したり要約したりして、自分の考えを文章にまとめる。



低学年に紹介したいから、短くて分かりやすい文に要約しよう。一目で分かる地図をのせて、それに関係のある文を引用しよう。

家族に紹介したいな。とても長い年月がかかる調査だということや、筆者の熱意が伝わるような文を引用しよう。



**学習活動②** まとめた文章を基に、紹介し合う。(ペア又はグループ)

### ポイント

目的や必要に応じて、興味をもったところから文章などを引用したり要約したりすることを通して、筆者の考え方や伝えたいことに対する自分の考えをまとめさせ、話し合わせる。

**学習活動③** 話し合ったことを基に「しょうかい文」を書き、学習活動を振り返る。

○課題の見られた問題 [5]二(1)、(2)

○出題のねらい

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の状況や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み、当てはまる言葉を指摘することができるかを判断する問題である。

出題の意図は、平成30年度の分析において、登場人物の行動や会話、情景などの叙述を、一つの場面からだけでなく文章全体から複数取り出し、それらを関連付けて捉えることに課題が見られたため、一つの場面からだけでなく文章全体を見通して、登場人物の状況や気持ちの変化について読み取る問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、(1)は、正答の条件である地の文からではなく、会話文から書き抜いた解答が多かった。

課題として、文章全体を見通して、行動や会話、地の文などの複数の叙述から会話文と地の文を区別し、行動や心情などを捉える力が不足していると考えられる。

(2)は、無答や、書き抜くという条件、青山さんの会話文の中に当てはまるように書くという条件を満たしていない解答が多かった。

課題として、様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やして文章の中で使う力が不足していることが考えられる。

### ○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、様子や行動、気持ちや性格を表す語句を捉え、動作化によって実感を伴って理解させたり、国語辞典を活用させたりすることが大切である。また、年間や単元を通して語彙を豊かにさせるために、オリジナル辞書などを作るといった工夫も必要である。

登場人物の行動や気持ちなどを捉えることは、文章を精査・解釈することや自分の考えを形成することなどにつながるものである。一つの場面だけではなく、複数の場面を関係付けながら考えることで、一人一人の読みが深まっていくようにすることが必要である。また、対話的な学びを通して、文章中で重要な意味をもつキーワードを手がかりに、登場人物の行動の意味や気持ちの変化などについて考え、友達一人一人の感じ方のよさに気付かせながら、自分の考えをもたせることが大切である。

### 指導例

対話的な学びを通して、登場人物の行動や気持ちを読み取らせる指導  
～単元名「登場人物の人からをとらえ、伝え合おう」(第4学年)～

【指導の流れ】4学年における「白いぼうし」(作:あまんきみこ)を例とした単元の流れ

1 人柄を捉えるために、登場人物の様子や行動、会話などの意味を確認させる。

**学習活動** 登場人物の様子や行動などにサイドラインを引き、感じたり考えたりしたことを話し合う。



白いぼうしを見付ける場面から、松井さんはどんな人だと感じますか。

とてもやさしい人です。



どんなところから、とてもやさしいと感じたのですか。

「ため息をついている」というところです。たけおくんががっかりしてしまうのを想像して悲しんでいるので、やさしいと感じました。



「かたをすぼめて」のところから、小さな子どもの気持ちが分かる人だと思うな。



「かたをすぼめる」って、どういうことかな。



実際に「かたをすぼめる」動作をやってみましょう。言葉の意味が分からない人は国語辞典で調べて、「オリジナル辞書」にのせておきましょう。

### ポイント

- ・登場人物の様子や行動、会話などを、動作化によって実感を伴って理解させる。
- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やすために、辞書を活用させる。

2 文章中で重要な意味をもつキーワードについての話し合いを通して、登場人物の行動の意味や気持ち、人柄などについて考えさせる。

**学習活動①** 物語全体を通して、キーワード「白いぼうし」が、それぞれの登場人物にとってどのような意味があるのか話し合う。



男の子にとっては、せっかくなつかまえたもんしろちょうを、お母さんに見せようと思って逃がさないようにするためのものだよ。

もんしろちょうにとっては、反対に自分が逃げられないようにされているものだよ。もんしろちょうはもしかしたらあの子なのかな。



松井さんにとっては、「白いぼうし」はどういうものなのかな。

女の子と出会うきっかけになっているよね。



「白いぼうし」は、この物語の題名にもなっているよね。この3人にとって、とても重要な意味をもっているんだね。

**学習活動②** 物語全体を通して、キーワード「夏みかん」が、どのような役割を果たしているのか話し合う。



お客さんのためにいいにおいにする「夏みかん」を車にのせているところに、松井さんのやさしい人柄が表れているよね。

そういえば、最初の場面に出てきた「夏みかん」が、最後の場面にも出てきているよね。



本当だね。気が付かなかったな。「夏みかん」は、不思議な世界に入っていくキーワードになっているのかな。



最後の場面の「夏みかん」の一文は、何のために書かれていると思いますか。

最後の場面で「夏みかん」のにおいがかすかにのこっているところから、松井さんがうれしそうに白いちょうをながめているような気がするな。



最後の一文は、松井さんの人柄を表すために書かれているんじゃないかな。

～（話し合いが続く）～

**ポイント**

文章中で重要な意味をもつキーワードの意味や役割について話し合わせることで、一つの場面だけではなく複数の場面を関係付けながら、登場人物の行動の意味や気持ち、人柄などを考えさせる。